

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

長瀬産業株式会社 殿

令和7年10月31日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 市場拡大に向けた戦略について、抽象的であるため、既存製品との差別化要因（価格、機能性、ブランド価値、環境性能等）を定量的に整理し、競争優位性を明確にした上で、製品毎の具体的な市場投入計画と販路戦略を明確にすること。
- ・ 顧客ニーズを踏まえ、論文や関連データを基にブランディングを実施することで、認知度向上や売り上げにつなげていくことに加え、顧客に対して長瀬産業製のエルゴチオネインの優位性をより見える化することが重要。例えば、競合商品との差別化に繋がるような性能評価指標等は考えられないか、オープン戦略の検討をさらに進めること。
- ・ 社内において、標準化を検討する部署と関係部署が連携できる体制整備を行っている点は評価。標準化は、ビジネス戦略を進めるにあたり、ツールとして活用するものであるため、長瀬産業全体のビジネス戦略を担当する部署とも連携して進めること。

以上